

まち・ひと・しごと創生

第2期小浜市総合戦略

令和3年3月

小 浜 市

目 次

1. 総合戦略策定の趣旨	1
2. 小浜市総合戦略の計画期間	1
3. 第6次小浜市総合計画との関係性および位置づけ	1
4. 総合戦略の基本的な考え方について	2
5. 取組体制と効果検証	2
6. 小浜市総合戦略の方向性について	2
7. 基本目標と主な取組み	3
(1) 「ひとづくり」新たな時代を担う人を育むまち	
(2) 「しごとづくり」活力ある産業をみんなで育てるまち	
(3) 「まちづくり」安全・安心に暮らせる住み心地の良いまち	
8. 基本目標と第6次総合計画の整理対照表	6

1 総合戦略策定の趣旨

国は、出生率の低下による人口減少、少子高齢化に歯止めをかけるとともに、東京圏一極集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的として、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、5か年の目標や施策の基本的方向等をまとめた、第1期（平成27（2015）年度から令和元（2019）年度まで）の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

これに基づき、本市においても、「まち・ひと・しごと創生小浜市総合戦略」（以下、「第1期総合戦略」という。）を定め、人口減少対策を進めてきました。

国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、5年間で進められてきた施策の検証を行うとともに、第1期「総合戦略」の政策体系を見直し、「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」、「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」の4つの基本目標と「新しい時代の流れを力にする」、「多様な人材の活躍を推進する」の2つの横断的な目標のもとに、地方創生の動きをさらに加速させていくこととしています。

第1期総合戦略が、1年間の計画期間を延長したことで、令和3年3月に終期を迎えることから、「第2期まち・ひと・しごと創生小浜市総合戦略」（以下、「第2期小浜市総合戦略」という。）を策定し、引き続き、人口減少対策の取組みを進めます。

2 計画期間

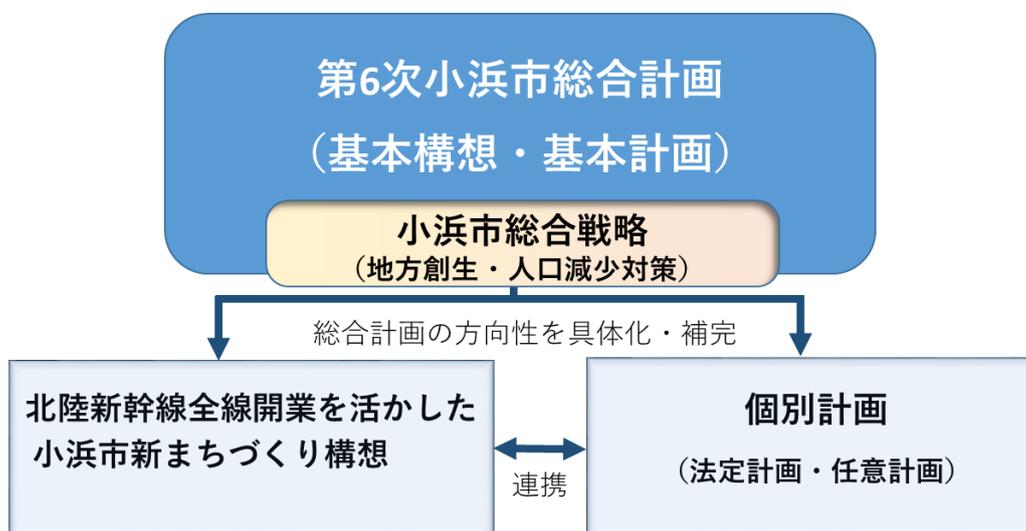
令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とします。

3 総合計画との関係性および位置づけ

本市では、令和3（2021）年度から、本市行政運営の総合的な指針となる第6次小浜市総合計画（以下「総合計画」という。）がスタートします。

平成27（2015）年度～令和2（2020）年度を計画期間とする第1期小浜市総合戦略をより実効性が高く、市民に分かりやすい計画へ再編するため、第2期小浜市総合戦略は、総合計画へ統合し、総合計画内における人口減少対策について、重点的・優先的に進める政策・施策を取りまとめています。

総合戦略における施策の方向性や事業については、「小浜市新まちづくり構想」等他分野の個別計画との整合性を図りながら、計画的に推進していきます。



4 総合戦略の基本的な考え方について

- ・「まち・ひと・しごと創生」政策5原則を踏まえた施策の推進

人口減少を抑制し、将来にわたり持続可能なまちを実現するため、第2期小浜市総合戦略では、国の第2期総合戦略で掲げる政策5原則の趣旨を踏まえた上で、効果的に施策を推進していきます。

1. 自立性 民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。
2. 将来性 将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。
3. 地域性 地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態にあった施策に取り組む。
4. 直接性 施策の効果を最大発揮するため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。
5. 結果重視 客観的なデータに基づく現状分析等により短期・中期の具体的な数値目標を設定する。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。

5 取組体制と効果検証

- ・第2期小浜市総合戦略にかかる取組みについては、毎年度、施策の進捗状況や効果について取りまとめ、外部有識者で構成する「小浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」において評価・検証を行い、必要に応じて施策の見直し・改善を行います。(PDCAサイクルの実践)
- ・第2期小浜市総合戦略にかかる施策の実施にあたっては、国の地方創生関連である情報支援・人材支援・財政支援等のほか、各種補助事業等各府省の政策・施策を積極的に活用し、より効果的に施策を推進します。
- ・国、県の地域間連携を活用するとともに、持続的に発展できる地域を目指し、嶺南地域における広域行政を積極的に進めながら、関係する自治体間連携・政策間連携・事務連携を行い、嶺南地域全体の課題の解決に努めます。

6 小浜市総合戦略の方向性について

本市は、古くから北川、南川沿い平野部の農地を守ってきたことから、他の都市と比べて可住地人口密度は高く、既にコンパクトな市街地が形成されています。

産業については、古代より朝廷に海産物や塩などを納める「御食国」を支えてきた水産業をはじめ、国内シェアトップを誇る塗箸産業（製造業）を基盤産業として、豊かな自然や食などのすばらしい地域資源を活かした観光産業を中心に発展してきました。

また、令和6（2024）年春の北陸新幹線の敦賀開業、さらに令和12（2030）年度末頃までの開業を要望している大阪までの全線開業が実現することで、京都まで19分、大阪まで38分で結ばれることになり、観光交流の増大や企業進出等の経済的な効果のみならず、人の暮らしや働き方などが大きく変容し、本市のまちのさらなる発展の可能性を秘めています。

しかしながら、全国的に人口減少・少子高齢化が進む中、本市においても、昭和55（1980）年以降減少傾向にあり、自然増減・社会増減ともにマイナスが続き、平成27（2015）年には29,670人で、3万人を下回りました。

人口を年齢3区分（年少人口、生産年齢人口、老年人口）別にみると、平成27（2015）年には、年少人口が12.9%で依然減少傾向にある一方で、老年人口は30.9%と増加が続いており、少子高齢化が進んでいます。

さらに、これまで増加傾向にあった世帯数についても、平成22(2010)年をピークに減少に転じており、今後、空き家の増加などが加速する恐れがあります。

そのような中でも、人口減少や少子高齢化を乗り越え、本市で住み続ける市民、今後住み始める市民が日々の暮らしを健康で、心豊かに続けられ、より満足度が高いまちを形成していくことが求められます。

その実現に向けて、「誰もが活躍できる地域社会」の形成と担い手となる「ひと」づくりが必要です。また、定住の基礎となる「雇用」の創出、さらに、安全・安心な生活を送るための「防災」、「健康・福祉」、「子育て」分野においても、施策を推進していくことが重要です。

本市においては、総合計画において、目指すべき将来像を「みんなで描く、悠久の歴史と風土が活きるまち ～新たな時代の御食国 若狭おばま～」としています。ここでは、これまで積みあげてきたまちづくりの流れを引き継ぎつつ、さらに小浜らしさを研ぎ、Society5.0などの技術革新や北陸新幹線全線開業といった大きなインパクトにも対応しながら、市民誰もが心豊かに暮らし、小浜で生きること誇りと喜びが持てる将来像を示しています。

第2期小浜市総合戦略においても、総合計画との整合を図るとともに、めざすべき将来像で掲げている「市民主役」、「歴史と風土が生きる住み心地の良いまち」を実現するため、「ひと」を育て、「しごと」(雇用)を創出し、市民が豊かな生活を実感できる「まち」の形成を重点項目として取組みを強化することで、人口増加につなげていきます。

総合計画による めざす将来像	みんなで描く、悠久の歴史と風土が活きるまち ～新たな時代の御食国 若狭おばま～
基本方針	市民一人ひとりが活躍し、豊かな生活を実感できるまち

7 基本目標と主な取組み

第2期小浜市総合戦略では、国の基本目標および本市総合計画の方向性を勘案したうえで、第1期小浜市総合戦略における成果と課題や新たな視点を踏まえ、次の3つの基本目標を設定し、基本目標毎に基本的方向と具体的な施策を定めます。

特に、「多文化共生社会の実現」や「society5.0の実現に向けた技術の活用」などの視点は、すべての基本目標に関連する横断的な取組みや考え方として位置づけるとともに、地方創生関連施策の推進にあたっては、持続可能な開発目標(SDGs)の理念を意識しながら取り組むことで、持続可能な社会の実現をめざします。

《基本目標》1 「ひとづくり」 新たな時代を担う人を育むまち

《基本目標》2 「しごとづくり」 活力ある産業と雇用を創出するまち

《基本目標》3 「まちづくり」 安全・安心に暮らせる住み心地の良いまち

持続可能な開発目標（SDGs）

SDGs「Sustainable Development Goals」

平成27(2015)年の国連サミットにおいて採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現をめざし、国際社会が協調して取り組む世界共通の目標です。

令和12(2030)年を目標年次とする17のゴールの下に、169のターゲット、232の指標が定められています。

地方自治体にとって、市民の教育、健康、生活環境、雇用などの重要な課題を対象としており、住みよい環境を確保し、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある社会を維持することをめざす総合戦略の取組みと多くの点でめざすべき方向性を共有しています。

第2期小浜市総合戦略では、SDGsの理念を意識しながら施策を進め、関係者と連携を図りながら、SDGsがめざす持続可能な社会の実現をめざします。



Society5.0

情報社会（Society 4.0）の次の新たな社会。

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）と定義されます。

Society5.0では、IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これまでの課題や困難を克服していく社会の実現をめざします。

また、人工知能（AI）による情報提供や、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方における過疎化等の克服が期待されます。

社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重しあえる社会、一人ひとりが快適で活躍できる社会をめざします。

《基本目標》1. 「ひとつづくり」新たな時代を担う人を育むまち

総合計画掲載項目

序章 新時代を迎えるまちに向けて

第1章 新たな時代を担う人を育むまちの実現

施策の方向性

次代を担う子どもたちを育むため、出会い・結婚・出産から育児、教育まで、子育てにおけるすべてのライフステージに応じて支援します。また、関係人口の増加を将来の定住人口につなげるため、住みやすいまちづくりの実現に向けた各種施策を推進します。

数値目標

指標	基準値	目標値
社会増減	△666人 (平成27年度～令和元年度合計)	±0人 (令和3年度～令和7年度合計)

基本的方向

①安心して、子どもを産み育てられる環境づくり

子育て相談窓口のワンストップ化、子育て拠点施設の充実、保護者への保健指導等の支援を強化することで、多様な保育ニーズへ対応し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。また、子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠、出産、子育てなどの各段階に応じたきめ細やかな支援体制を整え、仕事と子育てを両立できる環境づくりを推進します。

②次代を担う子どもを育てる環境づくり

年長児の「キッズ・キッチン」や小中学校における「ふるさと教育」、高校や大学などとの連携強化など、児童・生徒・学生の成長段階に応じたふるさと教育の推進やキャリア教育環境の充実を推進します。

③社会の担い手となるひとを増やす環境づくり

本市の魅力発信、県内外の学生と地域住民が協働で行う地域活動および協定締結大学と連携した学生の受け入れ、「空き家バンク」の活用等により関係人口を増やし、移住・定住につなげます。また、すべての市民が夢と誇りを持ち、豊かでいきいきと暮らせる持続可能な活力ある社会を実現するため、地域住民との協働による社会教育の充実をめざします。

重要業績評価指数（KPI）

重要業績評価指数（KPI）	基準値	目標値
地域子育て支援拠点事業実施施設数	3箇所 (令和元年度)	7箇所 (令和7年度)
認定こども園への移行園数	1園 (令和元年度)	5園 (令和3年度～令和7年度合計)
キッチンスタジオ利用者数 (延べ数)	1,092人 (令和2年)	2,000人 (令和7年度)
学級・講座の受講者数	2,800人 (令和元年度)	3,000人 (令和7年度)
お試し体験住宅等を利用して定住に 結び付いた人数（5年間合計）	9人 (平成27年度～令和元年度合計)	10人 (令和3年度～令和7年度合計)

《基本目標》2. 「しごとづくり」 活力ある産業と雇用を創出するまち

総合計画掲載項目

第3章 悠久の歴史と風土を活かした観光のまちの実現

第4章 活力ある産業をみんなで育てるまち

施策の方向性

本市の豊かな地域資源を活かした農林水産業や観光産業、また製造業などの産業基盤を発展しつつ、新しい時代に向けた新技術をうまく取り入れたスマートなまちの形成を進めます。北陸新幹線全線開業を見据え、高速交通の優位性を活かした企業誘致や起業支援など、新たな雇用・しごとの場を創出することで、産業活動の活発化を図ります。

数値目標

指標	基準値	目標値
新規企業誘致数	1社 (令和元年度)	7社 (令和7年度)
新規誘致・事業拡大による新規雇用者数	80人 (平成27年度～令和元年度合計)	90人 (令和3年度～令和7年度合計)

基本的方向

①働きたくなる場と安定した雇用の創出

多様な業種の企業を積極的に誘致するとともに、新規学卒者やU I ターン者、女性や高齢者、障がい者など働く意欲のあるすべての市民の就職が円滑に図られるよう、ハローワークや事業者、関係機関とのマッチングや就職活動に対する支援、安定雇用を創出します。

また、リモートワーク、サテライトオフィス、ワーケーション等への対応をはじめ、起業やスキルアップへの支援など、誰もが快適に働くことができる環境の整備を進めます。

②地域資源を活かし、新しい技術を取り入れる産業振興

新たな技術を活用し第一次産業の活性化を図るとともに、地域資源を活用した商品の開発等により、商品の高付加価値化、競争力強化を図り、水産食品加工業や若狭塗箸等の地場産業、伝統工芸産業等を支援し、地域経済の好循環を図ります。

③地域資源を活用した交流人口の増加

北陸新幹線敦賀開業アクションプランに基づき、観光の目的地として選ばれるよう、地域資源の魅力の向上、発掘や基盤整備に取り組みます。また、「重点支援DMO」である「おばま観光局」との連携を強化し、インバウンドを含む観光客の受入環境の整備・充実を図ります。

重要業績評価指数（K P I）

重要業績評価指数（K P I）	基準値	目標値
新規学卒者の地元就職率 (延べ数)	73.0% (令和元年度)	80.0% (令和7年度)
U I ターン就職者の数 (延べ数)	133人 (令和元年度)	970人 (令和7年度)
空き店舗等を活用する事業所数 (延べ数)	2件 (令和元年度)	20件 (令和7年度)
担い手への農地集積率	52.2% (令和元年度)	80.0% (令和7年度)
観光交流人口	189万人 (令和元年度)	204万人 (令和7年度)
観光消費額	109億円 (令和元年度)	128億円 (令和7年度)
教育旅行受入者数	5,935人 (令和元年度)	7,000人 (令和7年度)
国際交流関係イベントへの参加者数	1,641人 (令和元年度)	2,200人 (令和7年度)

《基本目標》3. 「まちづくり」 安全・安心に暮らせる住み心地の良いまち

総合計画掲載項目

序 章 新時代を迎えるまちに向けて

第2章 みんなが安全・安心に暮らせるまちの実現

第5章 新たな時代に向けた住み心地の良いまちの実現

施策の方向性

近年、頻発する自然災害から市民の生命・財産を守り、市民が安心して暮らせるまちを実現するため、防災体制の強化と地域における防災力の向上を図るとともに、自助、共助、公助による防災・減災に向けた取組みを推進します。

また、ライフステージにあわせた健康教育や健康相談等の保健事業の充実を図りながら、関係機関、地域で支えあい、市民一人ひとりが、健康で生きがいのある生活をともに創っていく「地域共生社会」の実現をめざします。

さらに、本市では近い将来、北陸新幹線全線開業することで、本市を取り巻く環境が大きく変化すると予想されると同時に、本市が飛躍的に発展する可能性を秘めています。このような中、今後、進めていく新たなまちづくりにおいて、SDGsがめざす持続可能な社会の実現やSociety5.0の実現に向けた技術の活用のほか、誰もが活躍できる地域社会の実現といった視点を取り入れながら、新しい時代の流れを力にして、住み心地の良い魅力あるまちの形成をめざします。

数値目標

指標	基準値	目標値
健康寿命年齢	男性 78.5歳 女性 82.8歳 (平成30年度)	男性 78.9歳 女性 83.5歳 (令和7年度)

基本的方向

①安全・安心な暮らしの確保

市民が安全・安心に暮らせる生活環境を築くため、備蓄物資や防災資機材の充実等の防災体制の整備、避難所等公共施設の耐震化、避難支援個別計画策定等の防災対策の充実を図ります。また、自主防災組織や「小浜市防災士の会」との連携を強化し、自助・共助・公助による防災を推進します。

②心身ともに健康で、いきがいのある生活の実現

豊かな食文化や自然環境を活かし、ライフステージにあわせた健康づくりを推進するとともに、地域医療体制の充実を図り、保健・医療・介護等切れ目のないサービスを提供します。また、地域内における社会参加を促進し、生きがいを持った長寿のまちづくりを進めます。

③市民一人ひとりが活躍する住み心地の良い地域づくり

本市が進めてきた「協働のまちづくり」を継承しコミュニティ活動を推進することで、さらなる地域力の向上に繋がります。また、すべての人が多様性を認めあい、誰もが活躍できるダイバーシティ社会の実現をめざします。

④SDGsで目指す持続可能な社会の実現

北陸新幹線全線開通を見据えたまちづくりを進めるにあたり、新しい時代の流れ(Society5.0の実現、SDGsでめざす持続可能な社会の実現等)を力にしながら、「小浜市新まちづくり構想」に掲げた「スマート&スローシティ」の実現に向け、各施策を推進します。

重要業績評価指数 (KPI)

重要業績評価指数 (KPI)	基準値	目標値
自主防災組織の結成団体数	112団体 (令和元年度)	147団体 (令和7年度)
地域防災マップの作成団体数	0団体 (令和元年度)	50団体 (令和7年度)
防災メール登録者数	1,392人 (令和元年度)	1,900人 (令和7年度)
ふれあいサロン設置区数	114区 (令和2年度)	117区 (令和7年度)
市民提案事案件数	9件 (令和元年度)	12件 (令和7年度)

総合計画と総合戦略の整理対照表

◎ = 重点取組み項目

			第2期小浜市総合戦略 基本目標																	
章	節	項	取組内容(号)	「ひとづくり」 新たな時代を担う人を育むまち			「しごとづくり」 活力ある産業と雇用を創出するまち			「まちづくり」 みんなが安全・安心に暮らせる住み心地の良いまち										
				て安心 られる 環境 づくり 子ども を産み 育て	る次 代を 担う 子ども を育て	を社 会の 担い 手と なる ひと	た働 きたく なる 場と 安定し	のい 地域 資源 を活 かし、 新し	人口 の増 大	地 域資 源を 活用 した 交流	保 安 心 な 暮 ら し の 確	が心 身と もに 健康 で、 生き	く る 住 み こ の 良 い 地 域 づ く り	S D G s へ の 貢 献						
(序) 新時代を 迎える まちに 向けて	1 新時代に向けたまちづくり	1 新時代に向けたまちづくり	1 新時代に向けたまちづくり			○											○			
	2 持続可能なまちづくり	1 持続可能な開発目標(SDGs)の推進	1 持続可能な開発目標(SDGs)の推進	1 持続可能な開発目標(SDGs)の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		2 関係人口増加、移住・定住の促進	1 関係人口の増加	1 関係人口の増加			◎											○		
			2 移住の促進	2 移住の促進			◎												○	
			3 定住の促進	3 定住の促進			◎												○	
	3 さらなる地域力の向上	1 循環型社会の構築	1 循環型社会の構築	1 循環型社会の構築													○	○		
		4 行財政改革の推進	1 簡素で効率的な行政体制の確立	1 簡素で効率的な行政体制の確立														○	○	
			2 市民協働および広域連携の推進	2 市民協働および広域連携の推進														○	○	
	3 持続可能な財政運営		3 持続可能な財政運営															○		
	3 さらなる地域力の向上	1 市民主役のまちづくり	1 市民主役のまちづくり	1 市民主役のまちづくり													◎	○		
2 協働・コミュニティ活動の活性化		1 協働の推進	1 協働の推進													◎	○			
		2 コミュニティ活動の推進	2 コミュニティ活動の推進													◎	○			
3 ダイバーシティ社会の実現	1 男女共同参画社会の推進	1 男女共同参画社会の推進	1 男女共同参画社会の推進													◎	○			
		2 多様な文化の共生	2 多様な文化の共生														◎	○		
(1) 新たな 時代を 担う 人を 育む まち の実 現	1 生涯学習の推進	1 生涯学習の推進	1 生涯学習の推進		◎												○			
	2 子育て環境の充実	1 子育て支援	1 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える環境づくり	1 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える環境づくり	◎													○		
			2 地域社会における子ども・子育て支援の充実	2 地域社会における子ども・子育て支援の充実	◎														○	
			3 子どもの健全育成のための教育環境の整備	3 子どもの健全育成のための教育環境の整備	◎															○
			4 仕事と子育てを両立できる環境づくり	4 仕事と子育てを両立できる環境づくり	◎															○
	3 学校教育の充実	1 幼児教育	1 幼児教育内容の充実	1 幼児教育内容の充実		◎													○	
			2 家庭における幼児教育支援	2 家庭における幼児教育支援		◎														○
		2 学校教育	1 小・中学校教育内容の充実	1 小・中学校教育内容の充実		◎														○
			2 教育施設および設備の充実	2 教育施設および設備の充実		◎														○
		3 就学機会の保障	3 就学機会の保障		◎														○	
	4 高校・大学教育等との連携	4 高校・大学教育等との連携		◎														○		
4 社会教育の充実	1 社会教育	1 生涯学習の推進	1 生涯学習の推進		◎													○		
		2 活動拠点の充実	2 活動拠点の充実		◎														○	
		3 青少年の健全育成	3 青少年の健全育成		○														○	
		4 地域づくりの推進	4 地域づくりの推進			◎													○	
		5 人材の育成および組織の強化	5 人材の育成および組織の強化		○	◎													○	
	2 人権教育	1 人権尊重の社会づくりの推進	1 人権尊重の社会づくりの推進		○												○	○		
	3 スポーツ	1 スポーツの振興	1 スポーツの振興		○														○	
2 指導者の育成支援体制の確立		2 指導者の育成支援体制の確立			○													○		
3 施設の整備・充実		3 施設の整備・充実			○													○		

		第2期小浜市総合戦略 基本目標																	
章	節	項	取組内容(号)	「ひとづくり」 新たな時代を担う人を育むまち			「しごとづくり」 活力ある産業と雇用を創出するまち			「まちづくり」 みんなが安全・安心に暮らせる住み心地の良いまち									
				育安心して られる環境 づくりを産み 出す	て次代を担 う子どもを育 む	と社会の担 い手となるひ ろく	し働きた く用する場 と安定	産しい地 域資源を 活用し、新 しい振興	活人口の 拡大	地 域資源を 活用した交 渉	確 保	安 心	な ま 暮 らし の	現 ま が い の あ る 生 活 の 実	心 身 と も に 健 康 で 、 生 活 の 実	城 づ く り の 良 い 地 域	市 民 一 人 一 人 が 活 躍 し て い る 良 い 地 域	S D G s へ の 貢 献	
(2) みんなが安全・安心に暮らせるまちの実現	1 安心して暮らせるまちづくり	1 防災	1 自助、共助、公助による防災の推進									◎					○		
			2 防災体制の整備										◎					○	
			3 防災対策の充実											◎					○
		2 交通安全	1 交通安全思想の啓発											○					○
	2 交通安全教育の推進												○					○	
	3 防犯	1 犯罪の防止											○					○	
	4 消費生活	1 消費生活相談体制の強化											○					○	
			2 消費者意識の高揚											○					○
	2 健康づくりの推進	1 保健	1 母子保健の充実	○											◎				○
			2 成人保健の充実													◎			○
			3 高齢者保健の充実													◎			○
4 健康づくりや子育て資源の充実															◎			○	
5 健康づくりと産業や文化振興との連携															◎			○	
6 予防可能な疾病の発生等を防止する体制の充実															◎			○	
2 医療	1 地域医療体制の充実と連携の強化													○			○		
	2 かかりつけ医、かかりつけ薬局制度の推進													○			○		
3 地域共生社会の実現	1 地域福祉	1 地域福祉の充実												○			○		
		2 相談・支援体制の充実													○			○	
	2 高齢者福祉	1 生きがいづくりと社会参加の推進													○			○	
		2 介護予防事業の充実													○			○	
		3 介護サービスの充実													○			○	
	3 障がい者福祉	1 安全で安心な生活環境の整備													○			○	
		2 自立への支援													○			○	
3 就労や社会参加のための支援													○			○			
4 子どもを守るしくみづくり	1 子どもを守るしくみづくり	○	○									○					○		
5 社会保障	1 国民健康保険・国民年金等の適正な運営													○			○		
	2 生活困窮者への支援													○			○		
	3 生活保護受給者への支援													○			○		
(3) 悠久の歴史と風土を活かした観光のまちの実現	1 観光・交流活動	1 観光	1 総合的な観光施策の推進										◎					○	
			2 観光関連団体との協力・連携											◎					○
			3 インバウンド観光の推進												◎				○
			4 観光資源の整備・開発												◎				○
			5 食を活かした観光施策の推進							○					◎				○
	2 交流活動	1 交流環境の充実											○					○	
		2 都市間交流の促進											○					○	
		3 国際交流活動の推進											○					○	
	2 文化財の活用・保存	1 市民文化	1 食文化の継承			○							○						○
			2 文化・芸術活動の振興											○					○
			3 施設の充実と活用												○				○
		2 文化財の活用・保存	1 文化財の調査・指定・保存											○					○
2 文化財の整備・活用												○					○		
3 環境保全の推進	1 環境保全	1 自然環境との共生														○		○	
		2 生活環境の保全														○		○	
		3 地域環境の保全														○		○	
		4 参加・教育・学習														○		○	

				第2期小浜市総合戦略 基本目標														
				「ひとづくり」 新たな時代を 担う人を育むまち			「しごとづくり」 活力ある産業と雇用を 創出するまち			「まちづくり」 みんなが安全・安心に 暮らせる住み心地の良いまち								
章	節	項	取組内容(号)	育 安 心 で ら し て ら れ る 環 境 づ く り	次 代 を 担 う 子 ど も を 育 つ	社 会 の 担 い 手 と な る ひ ろ く	し た 雇 用 の 創 出	産 業 の 振 興	地 域 資 源 を 活 か し 、 新 規 創 業	流 入 口 の 拡 大	確 保	現 時 が あ る 生 活 の 実	心 身 と も に 健 康 で 、 生 活 の 実	住 み づ く り の 良 い 地 域	S D G s へ の 貢 献			
(4) 活力ある産業をみんなが育てるまちの実現	1 商工業の振興	1 商業	1 商業エリアの整備															
			2 商業経営の近代化および活性化の促進															
			3 新たなにぎわいの創出															
		2 工業・企業誘致	1 企業誘致の推進						◎									
			2 生産基盤の整備						◎									
	3 地域ブランドの確立による地場産業の振興							◎	◎									
	4 中小・零細企業対策の充実							◎										
	3 起業支援	1 起業支援・起業環境整備				○		○										
		4 伝統工芸	1 伝統的工芸産業の継承・振興			○		○										
		5 労働・雇用	1 雇用の安定・促進						◎									
	2 労働環境・雇用環境の改善							◎										
	3 福利厚生の充実							◎										
	2 農林水産業の振興	1 地域経済の好循環	1 食による地域経済循環の推進															
			2 地域経済を底上げする人材の育成															
		2 農業	1 農業生産性の向上															
2 鳥獣害対策																		
3 魅力ある農業経営の推進																		
3 林業		1 森林および施業基盤の整備																
		2 木材需要の拡大																
		3 林業経営の活性化																
4 水産業		1 漁業基盤の整備																
		2 高付加価値型水産業の推進と消費の拡大																
		3 つくり育てる漁業の振興																
		4 産学官連携による水産振興研究																
1 新高速交通時代に向けて	1 北陸新幹線全線開業	1 北陸新幹線の整備促進									○							
		2 新幹線駅周辺のまちづくり									○							
	2 公共交通・道路交通網	1 広域道路網の有効活用										○						
		2 主要道路の整備										○						
		3 駅周辺の整備										○						
		4 地域公共交通体系の確立										○						
	2 住み心地の良いまちの形成	1 秩序あるまちの形成	1 中心市街地													○	○	
			2 都市計画区域													○	○	
3 農林水産業地域															○	○		
4 自然環境との共生															○	○		
2 環境衛生・生活環境		1 ごみ処理										○						
		2 し尿処理										○						
		3 火葬場の整備										○						
3 橋梁		1 新設・拡幅改良の促進										○						
		2 景観の確保										○						
		3 橋梁の長寿命化										○						
4 上水道		1 効率的で安全な水の供給										○						
		2 安定水源の確保と水道施設の計画的更新										○						
	3 経営基盤・組織体制の強化										○							
5 下水道	1 下水道の整備・維持管理										○							
	2 雨水路の整備・維持管理										○							
	3 処理場の適正管理と経営の健全化										○							
6 河川	1 河川改修の促進										○							
	7 住宅	1 民間住宅の改良促進									○							
2 市営住宅の整備										○								
3 空き家等の適正管理										○								
8 スマートシティの実現	1 通信の高速大容量化													○	○			
	2 AI などスマート技術の活用													○	○			
	3 情報の発信および保護													○	○			